

上野「文化の杜」新構想推進会議・ワーキンググループ（第6回）議事メモ

開催日時：平成26年4月18日（金）10：30～12：05

開催場所：東京藝術大学事務局第2会議室

出席者：辰野国立文化財機構理事、小松国立西洋美術館副館長、折原国立科学博物館理事、林東京都美術館副館長、桜庭東京文化会館副館長、鈴木上野の森美術館事務局長、堀東京都生活文化局文化振興部事業計画担当課長（関東京都生活文化局文化振興部部長代理）、北郷東京藝術大学理事、馬場東京藝術大学理事・（兼）事務局長、太田台東区役所文化産業観光部長、平林文化庁政策課長

オブザーバー：杉村晶生東日本旅客鉄道（株）投資計画部次長、原東日本旅客鉄道（株）事業創造本部課長、茅野雅弘上野観光連盟事務総長

欠席者：栗原国立文化財機構事務局長・（兼）東京国立博物館総務部長、五十嵐東京都建設局公園緑地部公園計画担当部長

ヒアリング参加：土居上野動物園園長、関口（株）都市計画設計研究所代表取締役、三浦（株）都市計画設計研究所代表取締役

●議題

（議題1）前回の議事メモの確認について

座長から資料1に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

（議題2）上野大臣政務官からの提案について

上野大臣政務官から資料に基づき説明後、上野「文化の杜」新構想への具体的提案に関して意見交換を行った。

（主な提案）

- ・ 新たな文化エリアを設定する。
- ・ 多様な文化プログラムを展開する。
- ・ 総合的な情報発信機能を整備する。
- ・ 子供・高齢者・障がい者・外国人に優しい環境をつくる。
- ・ 快適に過ごすための環境整備をする。

（主な意見）

- ・ 上野公園全体でさまざまな連携イベントを実施したいが、都市公園法による規制が厳しく実行できない。規制緩和を希望する。
- ・ 名物となるようなご当地土産等に関して、公益財団法人の収益事業に関する規制がある。規制緩和を希望する。

- ・ 机上資料2 観光庁「外国人旅行者に対するアンケート調査結果について」からわかるように、フリーWi-Fiの整備、クレジットカードやSuica等の利用環境整備を早急に行うべき。
- ・ ここで提言を行ったことを実施するに当たり、費用はどこから捻出するのか。

(議題3) 上野地区関係団体・都市計画関係団体のヒアリングについて

座長から標記について提案があり、「上野動物園」及び「(株)都市計画設計研究所」から上野「文化の杜」新構想に係るご意見、ご期待、ご要望の他、広く上野公園地区との関わり等について、ヒアリングを行った。

(主な内容)

- ・ 来場者の導線を考えた環境整備を進めている。その中で、商店街側へ人を流す導線を作ることも検討している。
- ・ 上野公園の良さは、余計な建物がなく、自然が多いために季節感を感じられること、そしてある程度人が来て混雑していることがかえって来場しやすいことにある。定休日に臨時営業しているような場合、開館していることがもっと伝わりやすい工夫をするべき。人が自然に入りやすい入り口を作ることは非常に重要である。
- ・ 来場者目標数3000万人は、東京ディズニーリゾートの現在の来場数とほぼ同じ数である。東京ディズニーリゾートは1日あたり約10万人が来場し、うち70000人が電車で来場している。また、20000台の駐車可能な巨大駐車場を整備して3000万人に対応している。上野公園地区においても来場者3000万人を迎え入れるためには、前者・団体バス・車等トータルに交通計画を考える必要がある。
- ・ 規制緩和の手段として、公園についても指定管理者制度適用の可能性はある。検討してみる余地はあるのではないかと。

(議題4) 今後の進め方について

- ・ 座長より資料2に基づき説明があり、原案のとおり承認された。